

日時：平成25年4月17日(水)17時～20時45分

場所：ニューオータニイン東京 かえでの間 (JR大崎駅前)

新合格者：石田正雄様、伊藤正彦様、磯部永舟様、隠善厚生様、亀山雅司様、木藤茂様、後藤明様、西川聡様、野村晃平様、鳴海雅稔様、林和幸様、平田一成様、山岸光様、新井田有慶様、孟 様、黄野銀介様、計16名
出席者(敬称略)：小柳択央氏(講演者)、池田大亮、浦辺修一、奥村貞雄、大山光男、神戸良雄、齋藤雅彦、笹口裕昭、芝崎誠、清水進、神藤典一、田中秀明、中村隆彌、田尻勝紀、萩野太郎、平野富夫、山崎宏、吉武進也、渡邊喜夫、亀山雅司 **合計 20名 総計 36名**

配布資料：

1. 金属部会定例会及び第一次、第二次試験合格者歓迎会議事次第、出席者名簿、席割表 (山崎)
2. 講演要旨「工業塗装の現況と技術士取得後の3年課」(小柳択央)
3. 「53rd Science & Technology Week」第54回科学技術週間(平成25年4月15日(月)～21日(日))(渡辺)
4. (財)溶接接合工学振興会、(財)国民工業振興会 共催 平成25年度 総会：特別講演・懇親会の案内
 『アーク溶解プロセスの進歩とシミュレーション』 講師：大阪大学大学院教授 平田好則先生
 ニューオータニイン東京 おおとりの間 (吉武)
5. 平成24年度 第技術士二次試験技術部門別結果 (清水)
6. 新合格者にのみ：公益社団法人日本技術士会入会申込書(正会員及び準会員) (清水)

1. 部会長挨拶：清水 進

2. 講演；演題：「工業塗装の現況と技術士取得後の3年課」

講師：小柳択央 有限会社小柳塗工所 代表取締役社長 技術士(金属部門)

講演内容

『そのときの出会いが人生を根底から変えることがある よき出逢いを』…みつお

【自己紹介】 講師は1968年生まれで45歳、東京都墨田区出身、1992年中央大学理工学部土木工学科卒業し、(株)ザナヴィ、インフォマティクス開発本部で日産自動車(株)のバードビューのナビ開発などを担当し、1997年小柳塗工所入社、2000年、父の後を継いで同社代表取締役に就任し現在に至る。

【会社概要】 昭和34年創業、従業員7名で、金属製品の塗装、スプレー吹付塗装・静電塗装・カチオン電着塗装などによって、産業機器の部品、建設資材、自動車、照明器具などの製品塗装を行っている。塗装は美観、防錆、付加価値など目的・用途にあった表面処理である。作業工程は前処理 塗料塗布 塗膜乾燥の工程を経て仕上がる。総務省産業分野の分類には工業塗装という分野は該当が無く、世の中の情報と当事者との間にずれがある。

塗装業を営む事業所は全国に数万件と推測されるが、工業塗装で何らかの団体に所属している事業所は2,000社程度である。東京工業塗装協同組合の加入者は年々減少し、平成1年に200社有った企業の数に現在は1/3の48社に減少している。当事者の意識と業界の地位向上が望まれる。最近の動向として、VOCの3割削減達成や平成24年6月に汚濁防止法が改正されたことやサボインの認証(中小ものづくり基盤技術の指定技術)により助成金・補助金を受けられるようになったことが特筆される。

自分が技術士を目指した動機は、

工業塗装業界の発展と地位向上(環境対策・行政との折衝・塗装設計者の能力向上)、

地域社会への貢献(墨田区や周辺地域への貢献)

業務の転換(質の向上、町工場からの脱皮、創造的破壊) 持続可能な社会への実現に貢献(技術士の理念に通じる)

【技術士取得後の3年間】 父の死去により会社を引き継いだ。当初は様々な悔しい思いがあった。あるとき偶然に塗装コンサルタントをする技術士の存在を知って興味を持ち、技術者倫理に関わる事件が本業に影響することが生じ、今後何が起こるか分からないという危機感を感じた。そしてそこに、勝負したい自分があり、自分の生きた証、魂を残したいなど強い思いがあって技術士取得への強いエネルギーとなった。

第1次試験に合格して、第一次試験合格者のガイダンスを受けた直後に日本技術士会に修習技術者として入会し、立ち上がったばかりのYES-Metalsの初会合に初参加(平成21年2月)し、その後、YES-Metalsの幹事として、司会進行や会合報告等を担当し、金属部会での講演や建設中の東京スカイツリーの見学と小柳塗工所の見学会を実施するなど、修習技術者としての活動をしてきた。

第2次試験に合格した時、母校の中央大学技術士会に参加し恩師の勧めもあり、講師募集に手を挙げ、兼任講師の委嘱を受け、中央大学理工学部とし環境学科で「技術者倫理」の一コマを担当することができた。そして、技術者倫理の授業の体験を月刊技術士に投稿し、日本塗装技術協会の塗装工学に「技術者倫理」の執筆(平成25年4月)を依頼されるなど、思わぬところから本業の塗装関係者と繋がる機会が得られた。

塗装組合では、「塗装は技術である」とこの証明としてサボインの指定業種への認定や東京の組合青年部の技術顧問となり全国大会で講演するなどの他、金属塗装一級技能士資格を取得、技能検定を委嘱されると同時に、先輩の叙勲・褒章のお手伝いなど含め、公的機関などに業界の現状を話す窓口として活動してきた。こうしたことを通して、話しをすること、文章を書くことが如何に重要・役立つかを実感した。また、日本技術士会では第1次合格者のガイダンスのパネリストやYES-Metalsの有志メンバーと一緒にテキストの発刊そして総合監理部門にも合格し、後輩の修習技術者に対して「技術士らしさ」の追求を伝え、これからの子供たちの世代に良い環境と魂を遺すため、目の前にいる技術士を目指す方にその思いを伝えたいと考えている。

【今後の取り組み】 技術士であるとともに経営者として、製造業における産業構造変化を乗り越え、これまで個別であった活動の連携を図り、若い人たちに「自分も技術士になりたい」と言われるような技術士を目指す。

終わりに

合格者の皆さんへ!! 先ず自分が何者か人に伝え、どうありたいか公言しましょう! スタートダッシュは講演や執筆が有効です。それが次の目標を実現する第1歩、次への行動に繋がります。

みなさんへ!! 工業塗装の業界は組織率が低いのが現状、環境対策など行政への折衝は、組織の力が必要です。持続可能な社会の実現のために技術士の力を貸してください。 **全ては、子供の世代に、より良い環境を遺すためです。**

以上

2. 集合写真の撮影【次ページに掲載】 (ニューオータニイン東京 正面玄関前にて)

3. 歓迎会【18:30~20:45】 司会 副部長 笹口 裕昭

- 1) 開会のことば 審議員 山崎 宏
- 2) 新合格者の喜びの挨拶と抱負 全出席者16名の方々から挨拶を戴きました。
- 3) 乾杯 名誉部長 吉武 進也
- 4) 会食
- 5) 出席者全員から励ましの一言
- 6) 閉会の挨拶・締め 顧問 神戸 良雄

4. 次回予定:

日時: 平成25年5月15日(水) 18:00~20:30

場所: 公益社団法人日本技術士会 葺手ビル5階 AB会議室

幹事会: 平成25年5月15日(水) 16:00~17:30 CD会議室にて

集合写真は次ページにあります。



金属部会 第1次、第2次技術士試験新合格者歓迎会出席者 集合写真

以上